

継続事業評価シート(対象:H28年度実施事務事業)

H29年度評価

事務事業名	未熟児養育医療給付事業					事務事業コード	01808
部名	健康づくり部	課名	健康づくり課	係名	保健係	部課コード	040400

1. 事業概要

総合計画コード	2521	2131			
事業年度	H 25 年度 ~ H 年度	事業類型	<input checked="" type="radio"/> ソフト事業 <input type="radio"/> ハード事業		
法令等の義務付け	<input checked="" type="radio"/> 法令等(市条例・要綱等を除く)で義務付けられている事業 <input type="radio"/> 義務と任意の両方を含んでいる事業 <input type="radio"/> 任意(市条例・要綱等を含む)の自治事務		<根拠法令等(法律、条例、要綱など)> 母子保健法、朝霞市母子保健法施行細則		
めざす目的成果	未熟児養育医療の給付を行うことで、未熟児の健やかな成長支援を行うとともに、対応家庭の経済的な負担を軽減することが出来ている。				
事業内容	入院医療が必要な未熟児に対し、医療費の給付を行う。				
事業手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市の完全な直営 <input type="checkbox"/> 委託等(請負、負担金、交付金等を含む) <input type="checkbox"/> 市民等との協働 <input type="checkbox"/> 補助金交付 未熟児養育医療の給付				

2. 実施結果

H28年度の事業の実施内容		・未熟児で出生した子どもに対し、必要な医療の給付を行う。				
		単位:千円	H26年度決算	H27年度決算	H28年度決算見込	
投入コスト	a 事業費[イ]~[ホ]		8,863	8,339	9,112	
	財源内訳	[イ]国庫支出金	3,613	3,363	3,202	
		[ロ]県支出金	1,806	1,681	1,601	
		[ハ]地方債				
		[ニ]その他	1,637	1,467	1,928	
		[ホ]一般財源	1,807	1,828	2,381	
	b 人件費		3,664	2,931	4,397	
総コスト(a 事業費 + b 人件費)		12,527	11,270	13,509		
投入労働量		常勤職員等(人工)	0.50 人	0.40 人	0.60 人	
		一般職非常勤職員等(時間)	420 時間	420 時間	420 時間	
a 事業費(H28年度決算見込)の執行内訳		報酬 : 391千円 需用費: 5千円 役務費: 18千円 扶助費: 8,698千円				
指標名		単位	H28目標・計画 (H28実績見込)	H29目標・計画 (H29実績見込)	H30目標・計画 (H30実績見込)	最終目標・計画 目標年度
活 動	① 未熟児養育医療処理件数	件	100 (78)	100 (—)	100 (—)	H 32 年度
	②		()	(—)	(—)	H 年度
成 果	① 未熟児養育医療支給人数	人	40 (35)	40 (—)	40 (—)	H 32 年度
	②		()	(—)	(—)	H 年度

3. 事務事業の分析

必要性 (市が関与する必要性はあるか)	判定	<input checked="" type="radio"/> A 必要性が高い	<input type="radio"/> B 必要性がある程度認められる	<input type="radio"/> C 必要性が低い
		<input checked="" type="checkbox"/> 社会経済環境の変化により、当該事務事業が解決すべき課題が増えている、増えることが予想される <input type="checkbox"/> サービスの拡大や充実を求める意見・要望が増えている <input checked="" type="checkbox"/> 法令等により、市に実施が義務付けられている <input type="checkbox"/> 市が実施しないと、市民生活に深刻な影響が生じる <input type="checkbox"/> 民間が実施した場合、現在のサービス水準を維持することが、収益性や技術面で難しい <input type="checkbox"/> その他 <説明> ・子どもが未熟に生まれ、入院加療を必要とする方への経済的支援のみならず、子どもへの支援と出産後の母親等の身体的精神的支援となる未熟児訪問指導の実施が、同じ窓口で可能となる事から、母子の健全育成の観点からも重要な事業である。		
達成度 (事業の目標は達成したか)	判定	<input type="radio"/> A 目標よりも大きな成果が得られた	<input checked="" type="radio"/> B 概ね目標の成果が得られた	<input type="radio"/> C 目標とする成果が得られなかった
		<input type="checkbox"/> 活動指標の目標を達成した <input type="checkbox"/> 成果指標の目標を達成した <input checked="" type="checkbox"/> 指標に表れない事項について目標を達成した <input type="checkbox"/> その他 <説明: 指標の達成状況及び改善等に関する達成状況を記入> 扶養義務者の所得に応じて自己負担額を扶助することで、適切な医療の提供ができています。		
留意点 (政策の立案・推進に際して)	<説明: 留意した点について記入>			
	思いやり: 未熟児養育医療の給付により対象家庭の経済的負担・事務負担を軽減させた。 参加と協働: 広報・ホームページ等により、母子保健サービスの情報を市民へ提供した。 経営的な視点: 対処となる家庭の経済的負担や事務手続きの負担を軽減するため継続して関係機関と連携を図った。			
見直し余地 (事業の内容、実施手法等は適切か)	判定	<input checked="" type="radio"/> I 見直す余地がない	<input type="radio"/> II 見直す余地がある程度認められる	<input type="radio"/> III 見直す余地がある
		<input type="checkbox"/> 民間委託や指定管理者制度の活用など事業手法の見直しの余地がある <input type="checkbox"/> 業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化する余地がある <input type="checkbox"/> サービスの対象、水準、内容を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 受益者負担のあり方について見直す余地がある <input type="checkbox"/> 実施体制(事業間・組織間の連携や事務分担など)を見直す余地がある <input type="checkbox"/> 投入したコストに見合った効果が現れておらず、効果向上やコスト圧縮の余地がある <input type="checkbox"/> その他 <説明> 関係機関との連携の調整を継続して実施する。		

4. 今後の展開方針[課としての判断]

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> A 市で継続実施 <input type="radio"/> B 休止・廃止 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> C 民営化 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> D 国・県に移譲 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度から <input type="checkbox"/> H29年度から <input type="checkbox"/> H30年度から) <input type="radio"/> E 終了 (実施時期 : <input type="checkbox"/> H28年度まで <input type="checkbox"/> H29年度まで <input type="checkbox"/> H30年度まで)				
	成果の方向性	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小	
投入資源の方向性	事業費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小	
	労働費	<input type="radio"/> A 拡大	<input checked="" type="radio"/> B 現状のまま	<input type="radio"/> C 縮小	
今後の取組方針	<input type="radio"/> A 見直して継続 <input checked="" type="radio"/> B 現状のまま継続				
	見直しの方向性	<input type="checkbox"/> 民間委託・PFI・指定管理者等を今後導入・拡大	(実施時期 : H	年度)	
		<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善	(実施時期 : H	年度)	
		<input type="checkbox"/> 対象・水準等の見直し	(実施時期 : H	年度)	
		<input type="checkbox"/> 受益者負担の見直し	(実施時期 : H	年度)	
		<input type="checkbox"/> 臨時・再任用職員等の活用を今後導入・拡大	(実施時期 : H	年度)	
<input type="checkbox"/> 市民等との協働を今後導入・拡大		(実施時期 : H	年度)		
方針 (次年度の改善内容等を含めた具体的な事業の展開方針)	現状を維持していく。				